



〔丸文株〕

平成 17 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名  丸文株式会社

代表者名 代表取締役社長 佐藤 敬司
(コード番号 7537 東証第一部)

問合せ先 専務取締役 黒川 佳一
(TEL 03-3639-3010)

(訂正)平成 18 年 3 月期 中間決算短信(連結)の一部訂正について

平成 17 年 11 月 15 日に発表いたしました「平成 18 年 3 月期 中間決算短信(連結)」の添付資料について一部訂正がありましたので、お知らせいたします。

訂正を要する箇所および訂正した箇所は____を付しております。

記

「平成 18 年 3 月期 中間決算短信(連結)」の添付資料

P.6 経営成績及び財政状態

1. 経営成績

【訂正後】

(1) 当中間連結会計期間(自 平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 9 月 30 日)の概況

……(省略)……

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

前期に引き続き第 3 世代携帯電話向けやワイヤレス通信向けの半導体が好調に推移しました。また、従来持分法適用関連会社であった Marubun/Arrow Asia, Ltd. を今期から連結の範囲に含めたことおよび 3 月 1 日付で子会社となった丸文セミコン株式会社のビジネスが順調に立ち上がったことにより、売上高は 92,474 百万円と、前年同期に比べ 27,018 百万円(41.3%)の増収、営業利益は 3,113 百万円と、前年同期に比べ 942 百万円(43.4%)の増益となりました。

(システム事業)

光通信用部品などの需要は増加したものの、前期に好調だった半導体検査装置などの半導体関連設備機器の売上が大幅に減少し、レーザ機器や航空宇宙機器も低調に推移しました。その結果、売上高は 14,766 百万円と、前年同期に比べ 3,281 百万円(18.2%)の減収、営業利益は 206 百万円と、前年同期に比べ 574 百万円(73.5%)の増益となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

国内は、第 3 世代携帯電話向けやワイヤレス通信向けの半導体が好調に推移したことと 3 月 1 日付で子会社となった丸文セミコン株式会社のビジネスが順調に立ち上がったことにより、売上高は 92,334 百万円、営業利益は 2,751 百万円となりました。

(アジア)

アジアは、今期から連結の範囲に含めた Marubun/Arrow Asia, Ltd. が堅調に推移し、売上高は 14,906 百万円、営業利益は 338 百万円となりました。

(注)当中間連結会計期間から所在地別セグメント情報が開示の対象となったため、前中間連結会計期間との比較は省略しております。

【訂正前】

(1) 当中間連結会計期間(自平成17年4月1日至平成17年9月30日)の概況

……(省略)……

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

前期に引き続き第三世代携帯電話向けやワイヤレス通信向けの半導体が好調に推移しました。また、従来持分法適用関連会社であった Marubun/Arrow Asia, Ltd. を今期から連結の範囲に含めたことおよび3月1日付で子会社となった丸文セミコン株式会社のビジネスが順調に立ち上がったことにより、売上高は92,474百万円と、前年同期に比べ27,018百万円(41.3%)の増収、営業利益は3,113百万円と、前年同期に比べ942百万円(43.4%)の増益となりました。

(システム事業)

光通信用部品などの需要は増加したものの、前期に好調だった半導体検査装置などの半導体関連設備機器の売上が大幅に減少し、レーザー機器や航空宇宙機器も低調に推移しました。その結果、売上高は14,766百万円と、前年同期に比べ3,281百万円(18.2%)の減収、営業利益は206百万円と、前年同期に比べ574百万円(73.5%)の減益となりました。

以上